

収益性向上に向けた経営改革を実施

取締役会の機関設計を

「指名委員会等設置会社」へ移行

資生堂は、2024年3月に開催予定の第124回定時株主総会にて承認されることを条件として、同社の取締役会の機関設計を「監査役会設置会社」から「指名委員会等設置会社」に移行することを決議した。

資生堂は、2023～2025年までの3カ年を中心に取り組む中期経営戦略「SHIFT2025 and Beyond」にて、中長期的な成長を目指すために「プランド」「イノベーション」「人財」の3つの重点領域への投資を強化しているが、昨今の急激な外部環境の変化を受け、中期経営戦略をさらに強化する必要性が増してきた。

具体的には、指名委員会等設置会社への移行を行う。従来より、モニタリングボード型を指向した取締役会運営等、透明性・公正性を確保しながら、戦略策定とその迅速な執行を行うためコーポレートガバナンス進化に向けた取り組みを行ってきたが、今回これを一段進めることで、さらなる企業価値向上を目指す。業務執行と監督の機能を明確に分離しそれぞれの強化を通じて、経営環境の不確実性が増す中でも戦略の実効性を高めるために、指名委員会等設置会社への移行を決定した。

取締役会は、経営戦略・事業計画の決定とそれらの執行の監督に集中すること、監督機能を強化し、変化の激しい環境下で、迅速な対応が求められる執行の取り組みを促す。また、指名委員会・報酬委員会は、独立社外取締役のみで構成し、戦

略の実現につながる役員指名と報酬の決定を、公正に透明性・客観性高く実現する。さらに、内部監査部門の機能を強化し、監査委員会はこれを通じた実効性の高い監査を実施する。これに対し執行は、代表執行役を中心としてよりスピード感をもった意思決定・業務執行を担う。同時に、CEOを中心に確実な成果を創出する自律的な監督・モニタリング機能を強化し、結果への責任とアカウンタビリティを果たす。具体的な体制については、取締役会の過半数を独立社外取締役で構成し、指名委員会、報酬委員会はすべて独立社外取締役で構成する。2024年3月に開催予定の第124回定時株主総会にて、必要な定款変更について承認が得られ次第、指名委員会等設置会社に移行する。同社は、戦略・重要な決定事項を議論・決裁する「グローバルストラテジーコミッティ」を設置し、事業運営している。こうした執行でのコミッティに加え、各エリア・領域ごとのアカウンタビリティを、これまで以上

に明確にし、事業構造改革の結果を確実に出すために「実行・モニタリングの強化」をすべく、CEOを委員長とする「グローバルトランスフォーメーションコミッティ」を2024年から設置する。このコミッティには、6つの地域本社（日本、中国、アジアパシフィック、米州、欧州、トラベラルリテール）に、グローバル本社、サプライネツトワーク、マーケティング&イノベーションの3つを加え、合計9つのタスクチームで編成する。それぞれ、「グロスプロフィットの拡大」「抜本的なコスト削減と人的生産性の向上に向けた生産性の向上」という2つの軸で、アクションプランを実行し、ターゲットの達成に向けて、トラッキングを強化する。グロスプロフィットの拡大に向けては、画期的なイノベーションを通じたブランド力の強化による売上成長のみならず、選択と集中をもう一段進める。グロスプロフィットを優先したブランドミックス、プロダクトミックスに転換することに加え、競争力の高い適正な価格設定、物流効率化等を通じて原価率低減により、売上成長率を超える。さらに、市場の変化に柔軟に対応した利益創出を実現すべく、固定費比率の低減にグローバル全体で取り組む。統合基幹システム（FOCUS）の刷新と業務改革が2024年に完了することで、間接部門の生産性を徹底して向上することに加え、EC売上構成比を飛躍的に高めることで、グローバルで人員規模の適正化を実現する。グロスプロフィットの拡大と2024～2025年の2年間で400億円超のコスト削減を通じて、確実に収益性を高める。また、経済環境の変化を十分に精査しながら、マーケティング強化に機動的に再投資することで、成長性の拡大につなげ、持続的な収益性向上と中長期的な企業価値向上の実現をより強力に推進していく。

資生堂は、プレステージスキンケアのポートフォリオ強化と米州事業の成長性・収益性拡大に向け、皮膚科学をベースとしたプレステージスキンケアブランド「Dr. Dennis Gross Skincare」を有するDDG Skincare Holdings LLC（本社：米国、ニューヨーク州）を買収することを決定し、2023年12月22日に最終契約を締結した。「Dr. Dennis Gross Skincare」は、皮膚科医であるデニール・ベータ・デイリー・ピアス・グロス博士とその妻キャリー・グロス氏により、2000年、米国ニューヨークで誕生したクリニカルスキンケアブランド。「健康的な肌の実現により、全世界のすべての人々の生活に変化

「Dr. Dennis Gross Skincare」を取得

資生堂は、プレステージスキンケアのポートフォリオ強化と米州事業の成長性・収益性拡大に向け、皮膚科学をベースとしたプレステージスキンケアブランド「Dr. Dennis Gross Skincare」を有するDDG Skincare Holdings LLC（本社：米国、ニューヨーク州）を買収することを決定し、2023年12月22日に最終契約を締結した。

「Dr. Dennis Gross Skincare」は、皮膚科医であるデニール・ベータ・デイリー・ピアス・グロス博士とその妻キャリー・グロス氏により、2000年、米国ニューヨークで誕生したクリニカルスキンケアブランド。「健康的な肌の実現により、全世界のすべての人々の生活に変化

資生堂 米国スキンケアブランドを買収

資生堂は、プレステージスキンケアのポートフォリオ強化と米州事業の成長性・収益性拡大に向け、皮膚科学をベースとしたプレステージスキンケアブランド「Dr. Dennis Gross Skincare」を有するDDG Skincare Holdings LLC（本社：米国、ニューヨーク州）を買収することを決定し、2023年12月22日に最終契約を締結した。「Dr. Dennis Gross Skincare」は、皮膚科医であるデニール・ベータ・デイリー・ピアス・グロス博士とその妻キャリー・グロス氏により、2000年、米国ニューヨークで誕生したクリニカルスキンケアブランド。「健康的な肌の実現により、全世界のすべての人々の生活に変化